



Love! Nishikko

shusai hamanishidousoukai

unei hamanishidousoukai kanjikai

nichiji 2011.1.2 sunday

kaijou grandhotel hamamatsu

nankaisotsu?

Love! Nishiko

目 次

■ ご挨拶

静岡県立浜松西高等学校
同窓会会长 稲垣 訓宏

静岡県立浜松西高等学校
後援会会长 伊藤 孝

静岡県立浜松西高等学校
校長 植松 豊

2011年新春の集い代表幹事
(高43回卒) 井口 幸英

6 2011年新春の集い趣旨・式次第

企画1 -REPORT-

8 母校愛を求めて ~奇跡の同窓会ノート~

企画2 -MEMORY-

12 祝還暦 高21回卒 ~当時を振り返って~

企画3 -INTRODUCE-

14 西高はOBも熱いゾ

15 野球部OB会

16 陸上競技部OB会

17 さなる湖会(ボート部OB会)

18 サッカー部OB会

19 浜西OBクラブ(サッカーボーイズ)

20 柔道部OB会

21 泳翠会(水泳部)

22 バスケットボール部OG・OB会

23 軟式庭球部OB会

24 浜松ホニカス西山会・西山建設クラブ

25 浜松西高同窓ゴルフ大会

26 こんなところにも西山魂!!! ~その他紹介~

28 20年前の記憶より

30 つぶやき ~あなたにとって西高とは~

31 新春の集いへのあゆみ

32 編集後記

33 協賛企業索引

広告

校歌

作詞 内野徳治
作曲 県善三郎

応援歌

一、銀くもりなき大洋や

東天耀ふ芙蓉峰

天与普き西山に

聳ゆる甍厳しく

こもる力の偉なるかな

二、真澄める空に讃歌の

声朗らかに打ち揚げて

清き尊き若き日のは

誇りゆたけく睡みゆく

心の光遠きかな

一、くろがねの男の子の腕
揮うべき時は来たりぬ
虹に似た我等が意氣を
示すべき時は来たりぬ

ハイザーウエストハイザーウエスト

フレー オー オー

二、いでやいで打ちてつくして

戴かん勝利の冠

いでやいで追い斥けて

握らんか霸權の剣

ハイザーウエストハイザーウエスト

フレー オー オー



静岡県立浜松西高等学校
同窓会会長
稲垣訓宏

新年明けましておめでとうございます。

「新春の集い」が今年も盛大に開催できることを、心より感謝申し上げます。ご来賓の皆様、同窓生の皆様、ようこそおいでくださいました。

本年の「新春の集い」のテーマは、「永久なる母校愛～誇りを胸に、永久なる未来へ!」です。当番幹事である高43回卒の皆様の母校への溢れる思いと情熱が伝わってきます。今日は、この集いで、同窓生の皆様が存分に旧交を温めると同時に、西山台で学んだ誇りと母校への限りない愛情を確かめ合って、卯年にふさわしく、大きく躍躍されますよう、期待いたしております。

さて、ちょうど当番幹事の多くのみなさんが生まれた昭和47年は、アジアで初めて冬季オリンピックが札幌で開催された年です。トワ・エ・モアの「虹と雪のバラード」の歌も懐かしいですが、忘れもしないのは、70メートル級ジャンプで笠谷さん、金野さん、青地さんの日の丸飛行隊が金銀銅メダルを独占するという快挙を果たしたことです。この快挙が、やがては種目はちがっても浅田真央さんらの優れた選手を生み出す礎となったと思います。翻って、わたしたちも日の丸飛行隊ならぬ西山台飛行隊として、礎を浜松西高等学校においています。西山魂というかけがえのないものを胸に、それぞれの未来に羽ばたいていってほしいと思います。

「新春の集い」を開催するに当たって、長きにわたって、一生懸命準備をしてくださった高43回卒の皆様と、ご指導およびご協力下さった評議員をはじめ多くの皆様に心から感謝申し上げるとともに、会員みなさまの益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。



静岡県立浜松西高等学校
後援会会長

伊藤 孝

新年明けましておめでとうございます。本日ご列席の方々をはじめとする全同窓生のみなさま、並びに在校生と学校ご関係のみなさまにおかれまして、幸多き一年でありますことを切にお祈り申し上げます。

さて、本年も「新春の集い」が盛大に開催されること、心よりお慶び申し上げます。世の中は激しく様々に変化いたしますが、この集いは毎年変わらず賑やかに執り行われます。楽しく参加させていただく裏側に、その年々の幹事のみなさまのお支えがありますこと(今年は高43回卒のみなさまですね)、いつもながら深く感謝申し上げます。

後援会は在校生と学校の応援団です。その原動力はまさに、今回のテーマである「母校愛」でございます。西高の諸活動に対し、物心両面からサポートして下さる同窓生の熱いお気持ちをしっかりと繋げて参ります故、今後も変わらぬご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、西山魂に根付く誇り高き様々な伝統が、永久(とわ)に續かれますことを心より祈願いたしまして、年頭のご挨拶とさせて頂きます。



静岡県立浜松西高等学校

校長

植 松 豊

新年あけましておめでとうございます。

今年も浜松西高の「新春の集い」がこのように華やかに開催され、同窓生の皆様が交流と絆を深められますことを心よりお慶び申し上げます。

同窓生の皆様には、日ごろより本校に対しまして深い御理解と物心両面からの御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

特に昨年は、同窓会の皆様の御支援と学校後援会の御協力により、普通教室 20 教室に空調設備が設置されました。これまで設置されていた 10 教室と合わせてすべてのホームルーム教室に空調設備が整いました。

昨年の夏は記録的な猛暑でしたので、空調設備の有難さを生徒・教職員一同、身にしみて感じたところです。1学期終業式の講話で、「同窓生の皆様に感謝するとともに、その感謝の気持ちを社会貢献への志に高めていこう」と話しました。体育館は蒸し風呂のような暑さでしたが、生徒たちは私の話をよく聞いていました。彼らの心の中で、自分も誰かの役に立つことをしよう、という気持ちが一段と強まったものと思います。

さて、本校は昨年の春、中高一貫校になってから3回目の卒業生を出しました。彼らの進学実績は大変素晴らしいもので、特に難関大学と言われる大学への合格者が増えました。今後もこの成果を生かし、更なる飛躍を期して努力して参りたいと考えております。

部活動においても、本年度、全国高校総合体育大会で、陸上男子1600mリレーが6位入賞、女子テニス（団体）が準々決勝進出という見事な成績を収めました。文化部も吹奏楽部（高校）が東海吹奏楽コンクール（B編成）に出場し、昨年度は金賞1位・朝日新聞社賞、本年度も県内出場校で唯一金賞を受賞しました。

中等部の生徒たちも、様々な場面で活躍しています。勉強や部活動はもちろんですが、学校外の活動でも、英検1級を取得する生徒、静岡こども環境大使に選ばれてハワイに派遣される生徒など、それぞれ自分の個性を生かし更に伸ばそうと努力しています。

今後も、文武両道の伝統を継承し、校訓にある「知、仁、勇」を備えた人材の育成を目指し、教職員一同全力で取り組んでまいりますので、これまでと同様、御理解と御支援を賜りますようよろしくお願ひいたします。

結びに、浜松西高等学校同窓会のますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。



静岡県立浜松西高等学校
2011年新春の集い代表幹事
(高43回卒)

井口幸英

新年明けましておめでとうございます。

また、還暦を迎える高21回卒の皆様、おめでとうございます。

本年も西高同窓会恒例の「新春の集い」が盛大に開催されることは、来賓の皆様をはじめ、浜松西高同窓生の皆様、広告を協賛して頂いた企業の皆様の御理解と御協力のおかげと、高43回卒幹事会を代表し心より厚く御礼申し上げます。

歩んできた時代は違えど、私たちは西山台で青春時代を歩んできました。西山台での生活の中で、仲間と共に学び、共に感じた全ての思い出が、きっと私たちの誇りとなり、私たちの支えとなってきたことでしょう。

今年の「新春の集い」のテーマは、『永久なる母校愛!～誇りを胸に永久なる未来へ～』です。

このテーマには、「新春の集い」を通して、世代を越えた“西高に対する熱い思い＝母校愛”を共有し、さらに同年代の絆を深め、また、世代を越えたつながりを広げていくことができればという願いが込められています。

そして、今年は『母校愛』をテーマに、西高OBによる様々な活動にスポットを当て、記念誌及び壇上パフォーマンスにて紹介させていただくこととなりました。今尚、西高を深く愛し、熱く、熱く活動されている多くの同窓生の思いや活動の様子をご覧頂けるのではないかでしょうか。

私たち高43回卒の多くの仲間たちが、諸先輩達の熱い思いに触れるたび、西高卒業生であることの喜びを強く感じることができました。やはり西高OBは、すごい!!

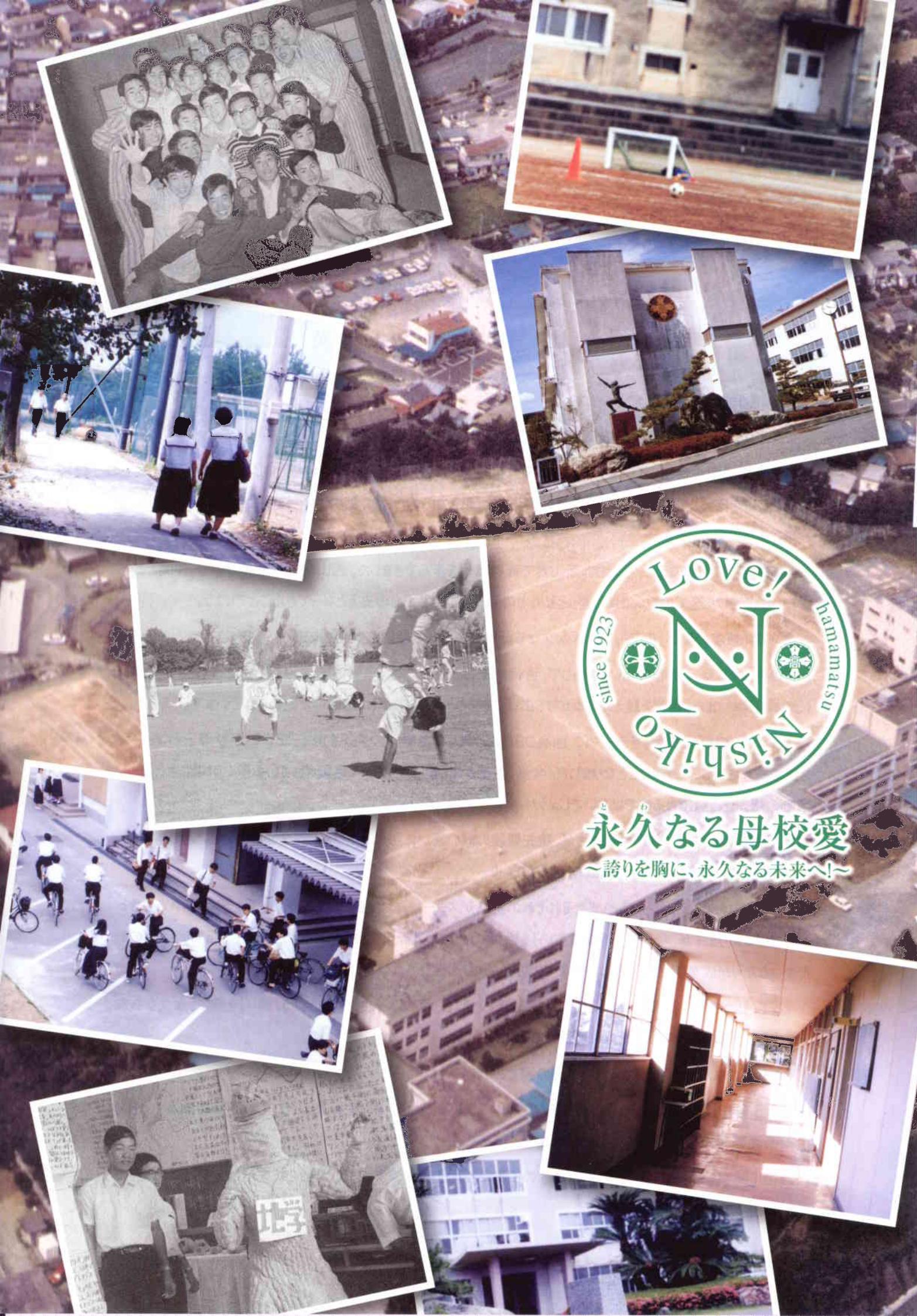
この「新春の集い」が終わると、またそれぞれの生活がスタートします。多くの問題をかかえた現代の中で生きる私たちではありますが、今年の「新春の集い」をきっかけに、この「新春の集い」が終わった後も、西高同窓生の新たなつながりが広がり、西高OBによる様々な活動がより活性化されることを願っています。

そして、私たちをつなげてくれた西校に対する『母校愛』と、西高卒業生であるという『誇り』を胸に、永久なる未来を力強く歩んでいくきっかけとなれば幸いです。

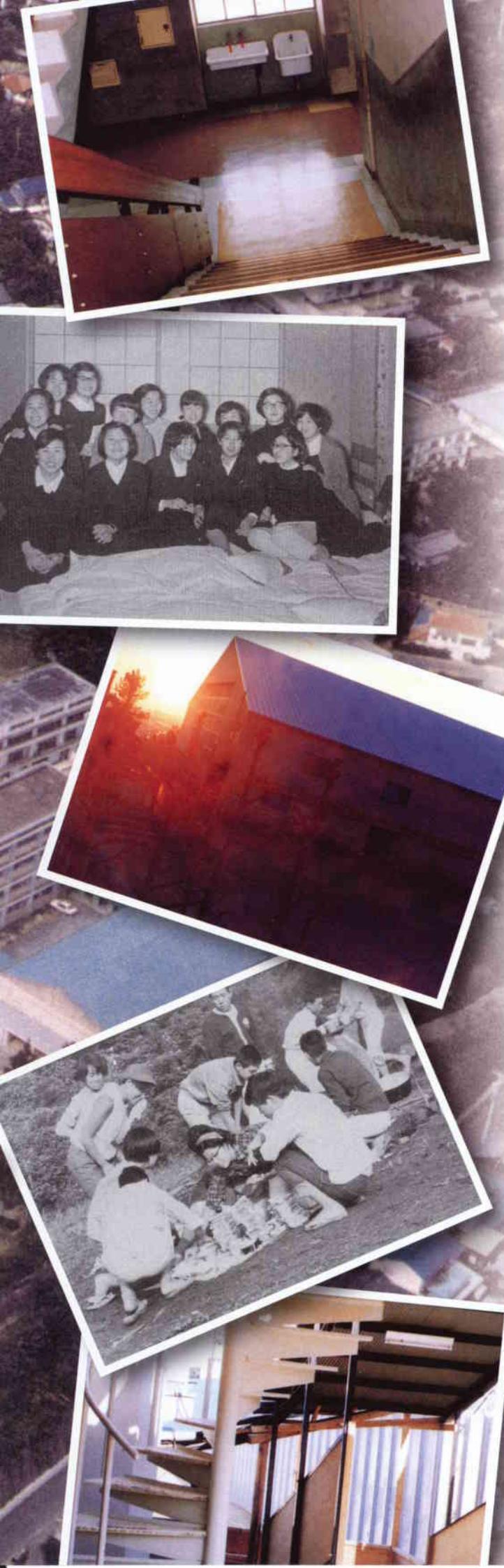
それが私たちが願う『永久なる母校愛』の姿であります。

私たち高43回卒も「新春の集い」を通してきずなを深めることができた仲間達と、そして西高の先輩達、後輩達、浜松西高等学校と共に、永久なる未来へ力強く歩んでいきます。

最後に同窓会・同窓生の皆様のますますのご多幸と浜松西高等学校のご発展を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



永久なる母校愛
～誇りを胸に、永久なる未来へ～



今年の新春の集いのテーマは「永久なる母校愛」です。

本日お越しいただいた約1000名(!)の皆様には、
“西山台で過ごした高校時代”という共通の宝物があります。
それぞれに仕事や家庭を持って暮らす今も、
心の奥にはきっと西山台での時間が刻まれていることでしょう。
いくつになっても消えない、輝く思い出。
今日は皆様の心にある「母校愛」を
この空間で奏で合い、素敵な一日をお楽しみください。

式次第

2011年 1月2日(日)

会場／グランドホテル浜松 鳳の間

14:30 受付開始

15:00 開会宣言
校歌斉唱
開会の辞
祝辞
表彰式
還暦者(高21回卒)ご紹介、鏡開き
乾杯
祝宴
OBグループ紹介
新春大抽選会

18:00 代表幹事挨拶

次年度幹事挨拶・同窓会旗授与
応援歌斉唱
閉会の辞

記念撮影



司会
河村由美(高44回卒)

※都合により進行順が変更になる場合があります。
※写真は高21回、高43回の卒業アルバムより使用いたしました。

母校愛を求めて。

—奇跡の同窓会ノート—

2009年、ある日。

NHKを見ていると、ある居酒屋が紹介されていた。

店の棚には、全国各地の高校の名前が書かれたノート「同窓会ノート」が
びっしりと並んでいた。そして、その居酒屋に訪れるサラリーマンたちが、自
分の出身校のノートにさまざまな心情を書き込んでいる。

2008年の年末には、不況からなのか書き込みが急増。ピンチに頼り頼られ、そんな書き込みから新たなつながりが生まれていく…

1冊のノートから、同窓生が繋がっていくなんてすごい!

まさに「永久なる母校愛」の一つの形なのではないだろうか?

西高のノートはあるのだろうか?急いでインターネットで調べてみると、まだ作
られていないようだ。これは運命かもしれない。すぐに「西高ノート」の作成に
とりかかるくては!

早速、関東にいる同期に連絡を入れたのだった…。

「同窓会ノート」とは?



JR新橋駅に近いビルの地下にある九州郷土料理のお店

「有薫酒蔵(ゆうくんさかぐら)」—東京都港区—。

全国各地の高校別のノートがびっしり並び、

その数は今では1,600冊を超えていている。

ノートとはいわゆる“よせがきノート”的こと。

故郷を離れた見知らぬ同窓生をつなぐ役割を果たしている。

新橋は日本有数のサラリーマンの街。

面識はなくとも、同じ高校出身ということで「ノート」を通じ、

同窓生が出会い励ましあっている。

高校の思い出だけでなく、会社での苦労や今後の人生などさまざま…。

有薫酒蔵にはじめて同窓会ノートが置かれたのは、20年以上前の1987年。

福岡県出身の常連客が、同窓会の連絡など近況報告用のノートを置かせてほしいと女将に頼んだのがきっかけだった。

ノートは他のお客様の興味を引いた。

「自分たちの高校はないのか。なければ自分たちの高校も置いてほしい」という希望から、徐々にノートは増えていった。



最初の一冊から始まった“奇跡のドラマ”を、
生みの親である女将の半生とともに描く。
(2009年3月／洋泉社出版)

「同窓会ノート」作成のルール

1. ノートを作り終えるまで、お酒は飲まない!
2. 必ず名刺を貼り、正確な卒業年を記入!
3. 他の同窓生に多く書いてもらう方法を考えること!

※「高校ノート」は原則的には当該校の卒業生のみが閲覧可能です。

■多数のメディアで紹介されています。

東京新聞2009.4.18より

「古典酒場vol.7」(三栄書房刊)より

その他にも、読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・静岡新聞・週間ポスト・クロワッサン etc...

「西高ノート」ができるまで。

EPISODE
1

カウンターパンチ!

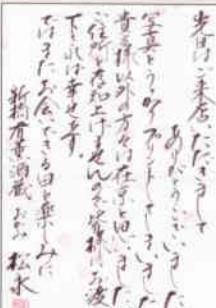
2010年5月、初訪問することに。有名店だけに予約が取れず、近くの店で空席のタイミングを計っていた。2時間近くすると、そのチャンスが訪れた。意気込んで「ノートを作りたい」とお願いすると「初めてお作りになる場合は、お酒を召し上がる前とさせて頂いております。」と女将さん。勉強不足と反省し、リベンジを誓った。

EPISODE
2

女将さん的心遣い

1週間後、女将さんから手紙と写真が届いた。

「あの時に撮らせて頂いた写真を、うっかりプリントしてしまいましたので送ります。」その一言に女将さん的心遣いと優しさを感じ、一同女将さんに惚れ込んでしまったのだった。



女将が“うっかり”プリントした最初の訪問時の写真とその際いただいた手紙。

EPISODE
3

リベンジ!

今度は1ヶ月前に予約。サラリーマンの街、アラフォーコンビらしからぬ軽快なステップで、意気揚々と店に入りみんなを待つ。前回の訪問時のことを女将さんも憶えていてくれた(うれしい!)。女性5名、男性8名が集結し、2010年6月25日念願の「西高同窓会ノート」を作成。みんなで心から喜び、祝杯を上げた。



高43回卒関東組他の面々

記念すべき1ページ目は副代表幹事。

EPISODE
4

西高ノート完成!

後日、女将からノート完成の手紙を頂いた。

西高は1,434番目!浜松市内でもすでに数校の登録がある中、やや遅咲きの感もあるが、とにかく同窓生みんなで集えるノートができてよかった。



女将から届いたノート完成連絡の手紙。



これが西高ノート

有薰酒蔵「同窓会ノート」登録校一覧

学校名はノートを作った順番となっています。

静岡県

- 静岡県立浜松西高等学校
- 静岡県興誠高等学校
- 静岡県立藤枝東高等学校
- 静岡県立焼津中央高等学校
- 静岡県立焼津東高等学校
- 静岡県立浜松北高等学校
- 静岡県立清水西高等学校
- 静岡県立焼崎高等学校
- 静岡県立沼津東高等学校
- 静岡県立焼原高等学校
- 静岡県立日大三島高等学校
- 静岡県立磐田西高等学校
- 静岡県立清水東高等学校
- 静岡県立富士高等学校
- 静岡県立下田北高等学校
- 静岡県立富士宮西高等学校
- 静岡県立葉山高等学校
- 静岡県立三島北高等学校
- 静岡県立袋井高等学校
- 静岡県立伊豆中央高等学校
- 静岡県立三島南高等学校
- 静岡県立掛川西高等学校
- 静岡県立静岡西高等学校
- 静岡県立清水南高等学校
- 静岡県立焼津高等学校
- 静岡県立西遠女子学園高等学校
- 静岡県立御殿場西高等学校
- 静岡県立磐田高等学校
- 静岡県立富士北高等学校
- 静岡県立御殿場南高等学校
- 静岡県立同窓会高等学校
- 静岡県立磐田東高等学校
- 静岡県立藤枝西高等学校
- 静岡県立浜松湖南高等学校
- 静岡県立修善寺工業高等学校

北海道

- 北海道深川西高等学校
 - 北海道立砂川北高等学校
 - 北海道立帯広柏葉高等学校
- (他51校)

青森県

- 青森県立大湊高等学校
- 青森県立高崎東高等学校
- 青森県立青森高等学校
- 青森県立弘前高等学校

岩手県

- 岩手県立盛岡第一高等学校
- 岩手県立一関第一高等学校
- 岩手県立盛岡第二高等学校

埼玉県

- 埼玉県立教高等学校
- 埼玉県立川越高等学校
- 埼玉県立浦和高等学校

群馬県

- 群馬県立高崎東高等学校
- 群馬県立前橋高等学校
- 群馬県立高崎高等学校

福井県

- 福井県立足利高等学校
- 福井県立鳥島高等学校
- 福井県立武生高等学校

山梨県

- 山梨県立甲府東高等学校
- 山梨県立甲府第一高等学校
- 山梨県立吉田高等学校

長野県

- 長野県立辰野高等学校
- 長野県立須坂高等学校
- 長野県立上田高等学校

京都府

- 京都府立東舞鶴高等学校
- 京都府立紫野高等学校
- 京都府同志社高等学校

滋賀県

- 滋賀県立金沢二水高等学校
- 滋賀県立中島高等学校
- 滋賀県立桜庄丘高等学校

京都府

- 京都府立修道高等学校
- 京都府立広島学院高等学校
- 京都府立尾道北高等学校

長崎県

- 長崎県立大村高等学校
- 長崎県立佐世保北高等学校
- 長崎県立猶興館高等学校

熊本県

- 熊本県立八代高等学校
- 熊本県立大津高等学校
- 熊本県立鹿本高等学校

大分県

- 大分県立高田高等学校

大分県立杵築高等学校

大分県立別鶴見丘高等学校

(他28校)

宮崎県

宮崎県立延岡西高等学校

宮崎県立延岡高等学校

宮崎県立宮崎南高等学校

(他18校)

鹿児島県

鹿児島県立ラ・サール学園

鹿児島県立錦江湾高等学校

鹿児島県立鶴丸高等学校

(他34校)

沖縄県

沖縄県立宮古農林高等学校

沖縄県立首里高等学校

沖縄県立辺土名高等学校

(他12校)

海外

INDIA IT CLUB JAPAN

WHARTON M・B・A

イリノイ大学付属高等学校

(他2校)

2010年6月18日 現在

同窓のみなさま、是非ノートに想いを綴ってください!

関東方面の方、又はご出張等でお寄りの方
母校愛が集う同窓会ノートはここにあります!

有薰酒蔵 (ゆうくんさかぐら)

新橋駅前のりそな銀行の地階に開店したのが昭和53年(1978)のこと。
食材は毎日九州から空輸し、新鮮素材を使った料理でのおもてなし。
お刺身の活きの良さは絶品、手づくりの「さつま揚げ」や「がめ煮」や「あご」など、ご当地の本格的な家庭料理を味わえます。

住 所 / 港区新橋1-16-4 りそな新橋ビルB1

T E L / 03-3508-9296

営業時間 / 昼(ランチタイム)11:30~13:30

夜17:00~22:45(フードLO.22:15)

土曜日16:30~22:00(フードLO.21:15)

定 休 日 / 日曜日・祝日

座 席 / 100席(全てテーブル席)

クレジットカード / JCB・VISA・MASTER・ダイナース他

交通アクセス / JR新橋駅日比谷口から徒歩2分

銀座線新橋駅7番出口より1分

予 約 / 木金夜は要予約



詳しくは… [有薰酒蔵](#)

<http://www.shinbashi-yukun.com/>



関東西山会への期待!

今回は僭越ながら高43回卒が西高ノートの口火を切らせて頂きました。他校では、同窓会の関東・関西支部があると伺います。この先、関東西山会としてさらに大きな母校愛が集うことを心より期待申し上げます。

番外編

私たちも作っちゃいました!

有薰酒蔵を真似て、仲間うちで盛り上がる
ノートを作ってみました。

今回、新春の集い準備活動を通じ、様々な仲間と大きく深い繋がりができました。
幸いにも、同級生(鈴木健吾オーナー)が地元のお魚を美味しく料理する「ふとっぱら(浜松市中区鍛冶町320-16 ニューハレスビル2F)」を切り盛りしています。
このお店に今後も続くコミュニケーションツールとしての同窓ノートを作ってみました。
みなさんの書き込み大歓迎です。ぜひものぞいて見てください。

詳しくは…

[ふとっぱら](#)

[検索](#)

<http://futo-para.com/>



ふとっぱらオーナーと。

高21回卒の皆様、 還暦おめでとうございます。

この度はご還暦を迎える誠におめでとうございます。これから益々のご活躍とご健勝を浜松西高同窓会一同よりお祈り申し上げます。



各クラスのみなさんに、西高当時の思い出から現在に至るまでを振り返っていただきました。

31HR 担任 懸川高治 先生

高校3年の43年～44年は激動の年でした。国外ではベトナム戦争が泥沼化し、国内では全国の大学で学生運動が燃え上がっていました。大学受験の1月には東京大学の安田講堂攻防戦がありその年は入学試験が実施されませんでした。

そんな時代状況ではありましたが、西高では渡水校長先生の指導の下、学業にスポーツに実績を挙げていました。高校野球では毎年県下ベスト8に入ることが当たり前になっていて、暑い中声をからして応援をした事が思い出に残っています。



名倉 恒夫

歴史クラブ

33HR 担任 豊田光示郎 先生

高校の卒業アルバムを先日久しぶりに開いてみた。修学旅行のページに自分の姿を見つけ、高校時代を思い出し懐かしかった。修学旅行は山陽方面に行き、宮島を見学し瀬戸内海や厳島神社の美しさに感動した。また学校祭は当時流行っていたグループサウンズの曲が演奏されたり、他校の女子生徒が多く来校し、たいへん華やいだ雰囲気の中で行われていた。

そんな高校生活が忘れられず、高校教師の道を選んだ。卒業後40年が経過した今でも我々の友情は続いている。



村木 克郎

地理部

32HR 担任 紅林収次 先生

西山台には、学校祭、応援団練習、マラソン、クラブ活動などたくさんの思い出がある。

私は美術部に在籍し、油やペン画を描いていた。こういうと真面目そうに見えるが、それでもなかった。好奇心が旺盛で、ちょっと悪かった生徒でもあった。

石膏本炭デッサンが好きだった。日曜日もよく出かけ、描いていた記憶がある。

西中の南側の坂を東に上がったところに、パン屋さんがあって、そこで食パン半斤を買ってから学校に行った。

当時は、何となく美大を意識していた。



中村久仁茂

美術部

34HR 担任 山本達男 先生

当時浜松西高では「西高ルネッサンス」という言葉が随所に現れていました。別に髭男爵とは無関係です。

団塊の世代直後で、校風、教育レベルを新しいものに向かって変革しようという潮流だと記憶しています。

私は早稲田大学に進学しましたが、双方に通じて「単なる頭でっかちになるな!」と言う概念で共通するものがありました。

私は現在もこの「在野精神」を忠実に生きております。そのため懐は寂しいものであります・・・。



杉山 知義

(旧姓:今村)

地理部、軽音楽部

**35HR**

担任 山下晃 先生

伝統校であり、文武両道である西高を志望したのは同窓の兄から雰囲気の良さを聞き、また陸上部が強く盛んに活動している事が主であります。

入学当初の思い出としては春休みからクラブの練習に参加したこと、一年当時は、今はなつかしい木造校舎にてスタートしたことが思い浮かばれます。

山下先生、陸上部顧問の伊藤先生ほか諸先生方のご指導の下、学校生活、クラブ活動に頑張れたことを感謝しています。

また同窓会幹事として出来るお手伝いをしていきたいと思っています。



伊熊 重幸

陸上競技部

36HR

担任 小林進一 先生

「我が人生、西高無くして語れず！！」

私の一番の思い出は、何といっても部活（軟式テニス部）であります。伝統と実績のある西高のテニス部で、厳しい練習に耐えて3年間続けることができたことです。お陰様で小学校時代の病弱な体質が改善され、校内マラソンでは一年の時に4番、二年の時には3番、そして3年の時には2番と自分の体力に自信が持てたことです。また、数多くの先輩方には社会人になってからもお付き合いをさせて頂いており、大変感謝をしているところです。

現在は、同窓生の皆さんを始め多くの人に支えられて、浜松市議会議員を4期やらせて頂いています。今後も同窓生の一員として、微力ながらお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。



二橋 雅夫

軟式テニス部

37HR

担任 尾藤登 先生

部活選択では何の迷いもなく柔道部に進みました。当時、私の卒業した中学校では格闘技をする部活動はありませんでした。格闘技に憧れていた私にとって柔道部は新鮮で、即入部させていただきました。顧問の内藤先生も新任で新しいパワーの下で厳しいご指導を賜りました。「礼」に始まり「礼」に終わる精神は混沌した現代社会においては、見直されるべき「道」ではないでしょうか。

我がクラスは理科系唯一の男女混成クラスであります。進学校とは思えない、のんびりした西山イズムと教室の雰囲気を和らげる女性の存在が、今でもクラス会を継続している「力」になっていると思います。



李谷 一芳

柔道部

38HR

担任 植木健雄 先生

高校時代の昭和40年代前半は、経済が大きく伸びる中で、学生運動が盛んになり、フォークやアイビールックが流行するなど、若者が流行を生み出し社会を動かすエネルギーに満ちた時代でした。このような時代に、明るく豪放な植木先生をはじめ、多くの個性的な先生方の下で、勉学より部活や遊びに重きをおき、西山台の3年間を過ごすことのできたことを改めて感謝しています。

私自身は生物部で昆虫採集に夢中になりました。毎週日曜日は湖西連峰や天竜川原で虫を追ってました。もうすぐ定年。手に入れた自由な時間を、高校時代のような夢中になれる趣味や、学生時代からの友人達との遊びに思う存分使いたいと考えています。



堀川 知廣

生物部

39HR

担任 江夏金俊 先生

我が39HRは、当時理系の特殊クラスと言われ、男性ばかりであった。担任の江夏先生は数学担当で、後に初代の県立湖西校長に栄転したと聞いている。

当時の西高生徒を端的に回想すれば、「文武両道ながら、そんなにガリ勉タイプは稀少で気さくな人柄が多くいた印象」を抱いている。

卒業して40年以上なるが、西高卒を今でも誇りに思っています。



大石 好廣

バスケット部



Love! Nishiko
Love! Nishiko
Love! Nishiko Nankaisotsu?

西高は OBも熱いゾ

西高を卒業し、それぞれの道を歩んできた先輩、後輩や私たち。進んできた道や時代は違えど、西高に対する愛情や西高の卒業生であることの誇りは変わらないことでしょう。「母校愛」をベースにさまざまな活動を行っている同窓生の皆さんのご活躍を耳にすることもしばしば。そこで、そんなOBの皆さんの活動をのぞいてみました。



Nishiko OB Katsudou



昨年の北高との定期戦は11対
3で勝利!!



◆ 設立のいきさつを教えてください。

正確には把握していませんが、2010年の北高とのOB戦が34回目になるので、活動はそれ以上続いています。現役生の支援のため、毎年さまざまな活動をしています。

◆ 主に何人ぐらいで活動していますか？

毎年会費をいただいて、連絡をとっている方が約380人。昨年卒業して、大学野球をがんばっている18歳の後輩から、高2回卒の大先輩まで活動に参加しています。



小笠原守之助さん
(高23回卒)

◆ 活動内容を詳しく教えてください。

まず1月2日に総会があります。そこでは西高を卒業し、大学でも活躍する選手を毎年表彰しています。そして4月の第3日曜日には恒例の浜松北高との定期戦があり、OBと現役の試合が浜松球場で行われます。また、夏の静岡大会の抽選の翌週には「夏の祭典」、静岡大会の本番では「応援ツアー」も組んでいます。あとは、選手名鑑の発行、ホームページの運営など、月に一度は役員会を開いて活動しています。



西高を卒業し、大学でも活躍する選手を毎年表彰している。



現役生支援のため、毎年さまざまな活動をしている。

母校に対しての思いをひとこと！

野球部にはなんとか是非もう一度、甲子園に行って欲しいね !!!

試合結果が詳細に掲載されています。
「がんばれ！浜松西高野球部！」で検索してください。

名 称	浜松西高 野球部OB会
担 当 者	事務局 田力 錦秀(高27回卒)
連 絡 先	TEL 053-542-0255
人 数	会員数 約870名
活動内容	年1回の浜松北高野球部との定期交流戦(OB戦・現役戦) OB会総会、選手名鑑の発行、現役生への支援



顧問の筒井先生も西高陸上部出身。OBが西高の教師になり後輩を指導するのも陸上部の伝統になっている。



2006年高校総体で日本歴代3位の記録を出した中村宝子さん(高59回卒)は記憶に新しい。



鈴木 學さん(高22回卒)

◆設立のいきさつを教えてください。

OB会を結成したのは昭和54年ごろだったと思います。ちょうどインターハイなどの大会で活躍する生徒が増えてきたことで、私たちOBとしてもぜひ応援していきたいという機運が高まり、この会を設立しました。

◆年齢構成はどうなっていますか？

高2回卒から昨年の卒業生まで、すべての年代にわたっています。そのなかでも、伊藤久雄先生が監督をされていたときに指導を受けた私たちの年代が中心となり、活動をしています。伊藤先生は戦後すぐから昭和47年まで陸上部を指導され、多くの歴史を作った偉大な先生です。

◆活動内容を詳しく教えてください。

現役の生徒全員の活躍を願って、毎年全員にタオルを贈っています。昨年は95名の生徒に贈ることができました。もちろんインターハイなどの大会へ参加する生徒への支援も行っています。また、会員相互の親睦のために年1回6月末ごろに総会・親睦会を開催し、交流を深めています。一部の会員の間では同好会的な集まりとして、伊藤先生を囲んでゴルフコンペなども開催していますよ。

■ 高43回卒代表幹事も実は陸上部なんです。 ■



◆会の今後はどうお考えですか？

まだまだ一部のOBが中心となって活動している状態です。より多くの陸上部OBに、この会のことを知ってもらい、総会・親睦会へまず足を運んでもらいたいと思います。OB会で陸上部の活動をサポートして、多くの生徒に活躍してもらう原動力になりたいです。

母校に対しての思いをひとこと！

現役生には、全国大会で活躍して母校西高の名を全国に轟かせてもらいたいです。陸上は個人競技なので「一人」の力で全国制覇ができるし、また、学業との両立もしやすいのではないかでしょうか。多くの生徒たちの活躍を期待しています。

名 称	陸上競技部OB会
代表者	鈴木 學(高22回卒)
連絡先	TEL 053-456-7898
人 数	566名
活動内容	現役生の応援・支援 OB相互の交流と親睦



元旦は佐鳴湖で初漕ぎ！



新チームの応援です。

鈴木 政晴さん
(高40回卒)

◆ 設立のいきさつを教えてください。

この会を設立したのは平成10年ごろです。同級生の結婚式で、西高ボート部で苦楽を共にした友人達と再会しました。卒業して10年ほど経っていたのですが、国体で県の成年代表だったり、県のボート協会の理事だったり中学のボート部で顧問をやってたり・・・。みんな社会人になってもボートにかかわり続けていたんですね。それならば同窓の仲間たちと、もう一度ボートをやりたいとの思いで、この会を設立しました。

◆ 年齢構成はどうなっていますか？

西高にボート部が生まれたのは昭和48年ですが、このOB会は昭和60年卒以降が活動の主体になっています。もっと多くのOBの皆さんに参加していただき、活動を盛り上げていきたいと思っています。

◆ 活動内容を詳しく教えてください。

OB相互の活動としては、5月の「五月レガッタ」、例年8月の「ボートフェスティバルin天竜」などの市民大会へ参加しています。2006年には、「さなる湖会」が浜松市の代表として「第15回 全国市町村交流レガッタ南砺大会」に出場し、壮年の部で見事準優勝を勝ち取りました。ボート部は、例年1月1日朝10時から佐鳴湖で「初漕会」を行っています。現役生との交流として、私たちOBも参加しています。これには毎年30名くらいのOBが集まります。また、2009年には、現役生へ男子ダブルスカルの新艇 "Iris" を寄贈するなど、現役生への支援活動も行っています。詳しい活動についてホームページも見てください。(http://masalabo.com/hamanishirc/)



平成21年にはOB・OG寄付による新艇「Iris」(男子ダブルスカル)を現役選手に引き渡しました。

◆ 会の今後はどうお考えですか？

これからも、現役生に対して、何かしらの形で応援・支援していくと考えています。

母校に対しての思いをひとこと！

いっとき、生徒の人数が減少したことでの危機がありました。しかし現在では部員が20名以上にもなり、今後の活躍に期待したいと思います。

名 称	さなる湖会(浜松西高ボート部OB会)
代 表 者	鈴木 政晴(高40回卒) 浜松西高中等部
連 絡 先	masaharu.suzuki@hama24.org
人 数	約350名(OB総数)
活動内容	現役生の応援・支援 OB相互の交流と親睦

OB活動紹介



◆設立のいきさつを教えてください。

サッカー部そのものは、1946年（昭和21年）に浜松第二中学校校友会蹴球クラブとして発足しています。OB会の発足時期ははっきりしませんが、OB会規約が昭和30年1月2日発効となっているため、おそらくその頃だと思われます。設立目的は、会員相互の親睦を図ること、浜西サッカー部の発展に寄与することです。また、平成18年8月5日には浜松西高等学校サッカー部創立60周年記念式典を行いました。



◆年齢構成はどうなっていますか？
大学生（18歳）から73歳まで、幅広い年代で構成されています。

正月は恒例の初蹴り！2009年はオリジナル手袋を配りました。



◆活動内容を詳しく教えてください。

1月2日に現役・OB参加の初蹴りを行っています。3～4月には西部地区高校サッカー部OB対抗サッカー大会への参戦、そして8月の第1日曜日には浜松北高との定期戦があります。幹事は北高と1年交代で行っており、現役（中等部含む）同士・OBについては年代ごとに対戦します。昨年の定期戦は8月1日に行われ36回目を迎えました。近年は社会貢献活動として、浜松市・袋井市の特別支援学校のサッカー部の皆さんをご招待し、交流試合などを行っています。また、現役生の試合スケジュールや結果をホームページに掲載しています。それ以外にも、サッカー部父母会とも協力し、現役生に対して様々な支援活動を行っています。



8月には北高との定期戦をやっています。

◆会の今後はどうお考えですか？

近年、OB会役員に若手を起用することにより、組織の活性化を図っています。今後より多くのOBに、浜西サッカー部・OB会に関心を持っていただけるよう活動していきたいと思っています。



「浜松西高サッカー部OB会」で検索してください。

母校に対しての思いをひとこと！
もっともっと西高のことを知って
もらって西高サッカー部に入って
ほしいね。

名 称	静岡県立浜松西高等学校 サッカー部OB会
代表者	秋田 满彦（高25回卒）
連絡先	TEL/FAX 053-463-0681 hamanishi.ob@gmail.com
人 数	800名
活動内容	初蹴り・浜松北高サッカー部との定期交流戦・西部地区高校サッカー部OB対抗サッカー大会への参戦・現役生への支援など



岩切 虚造 さん

日本サッカー協会主催「全国シニア(60歳以上)サッカー大会」のシニア(70歳以上)の部の静岡県代表選手として活躍されています。また、浜松怪童クラブ(40歳~90歳在籍)にも所属され、静岡県シニアリーグでは年間30~40試合をこなされています。現在も、週1回の怪童クラブの練習の他、週1回のフットサル、週4日は5kmのランニングをされているとのこと。すごい!!としか言いようがないです‥‥。

印象に残った一言 前の日に出来たことを、ただ次の日にやるだけ。毎日続けることが大切だね。

岩切 虚造さん(高8回卒)

OB PICK UP !!

平成22年4月より浜西サッカーチームOBとして初めて顧問へ就任。同OBのコーチとともに、現役指導に汗を流されています。

意気込みを一言 サッカーもそれ以外のこと、西高の過去の伝統を引き継いでいけるようにしたいですね。今後は中高一貫校として中等部サッカーチームとの連携を図り、選手の育成をしていきたいと思います。

松山 寿樹 さん



松山 寿樹さん(高34回卒)



浜西OBクラブ(サッカー)

◆設立のいきさつを教えてください。

サッカーを愛する浜西サッカーチームOBには、西高卒業後もサッカーに色々な形で関わっている諸氏が大勢います。そんな中、西高サッカーチームOBの団結の強さから昭和24年にOBチームが結成され、現在も活動が続けられています。

◆活動内容を詳しく教えてください。

静岡県西部2部社会人リーグに所属しており、年間11~12試合をこなしています。合同練習は特にしていないため、おのおの練習に励んでいます。



試合結果は「浜西OBクラブ
のブログ」で調べて!
←



◆年齢構成はどうなっていますか?

現在は25歳~43歳までが所属していますが、試合に出るなど主に活躍しているのは30歳前後の選手です。

現役生への思いをひとこと!

西高と言えば「文武両道」。勉強だけでなく、部活動にも力をそいでほしいです。

名 称	浜西OBクラブ
担当者	小黒 健太郎 (高47回卒)
連絡先	oguro-01@384.jp
人 数	27名
活動内容	静岡県西部2部社会人リーグ に所属 年間11~12試合出場

OB活動紹介



初稽古風景

柔道部OB会

親子二代で西高柔道部です。



柿澤匡紀さん（高16回卒）
柿澤紀枝さん（高43回卒）

◆ 設立のいきさつを教えてください。

1971年（昭和46年）に柔道部のさらなる活躍を願い、柔道部及び部員への援助、また、同部OBの交流・親睦を図ることを目的として設立しました。

◆ 年齢構成はどうなっていますか？

二中時代の柔道部設立時の卒業生（中8回卒）から昨年度の卒業生まで、幅広い年代の人たちが会員となっています。



◆ 活動内容を詳しく教えてください。

毎年1月2日、西高柔道場にて現役生と稽古始め、その後、OB会員と現役生との試合を行っています。終了後、OB総会及び現役生との会食があり、毎年約30名のOBが参加しています。この稽古始めは、現役生との交流だけでなく、年配OBと若手OBの交流の場ともなっています。また、柔道部へのサポートとして、夏合宿での激励、現役生への指導、初段獲得者には黒帯の進呈、全国大会出場者へ柔道着等の贈呈や壮行会の開催をしています。その他にも、年2回OB会報を発行し、現役生1人1人のコメントと活動状況、試合結果報告なども行っています。



柔道部と言えばやっぱり
溝口紀子さん

バルセロナ五輪銀メダル
は外せない！



溝口紀子さん（高42回卒）



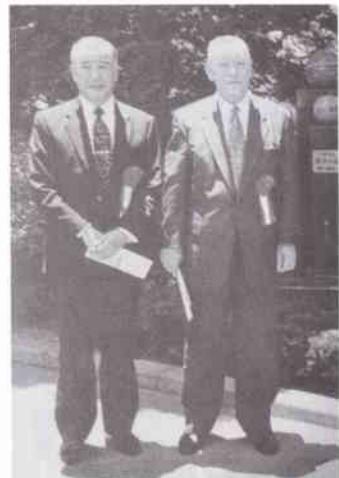
◆ 会の今後はどうお考えですか？

OB会の活動をさらに発展させるため、毎年開催される稽古始めにて、現役部員へ声かけし、卒業後のOB会への参加を促しています。今後は、会員名簿の更新、柔道部への勧誘やサポートの強化を考えています。役員の世代交代、柔道精神の浸透、西高柔道部の伝統の継承などが課題となっています。

母校に対しての思いをひとこと！

部活動が活躍すれば、西高ももっと活性化され、OB会としてもまとまりが強くなり、全員で応援するようになります。（溝口さんのオリンピック出場の時の様に）現役生の活躍を期待しています。

名称	浜松西高 柔道部OB会
代表者	白井 康二（高29回卒）
連絡先	事務局 宮崎 典彦（高31回卒） TEL 053-592-0731
人 数	550 名
活動内容	浜松西高等学校柔道部のサポート及び同部OBの交流と親睦



オリンピックに出場された倉橋さん(左)と古橋さん(右)

◆ 設立のいきさつを教えてください。

OB会としての発足の時期ははっきりしませんが、水泳部そのものは1924年(大正13年)4月、浜松第二中学校開校と同時に創設されました。その後、下記の「泳翠会の由来」にもあるように、「創部75周年記念誌」発刊を機に、名称を「泳翠会」としました。

◆ 年齢構成はどうなっていますか？

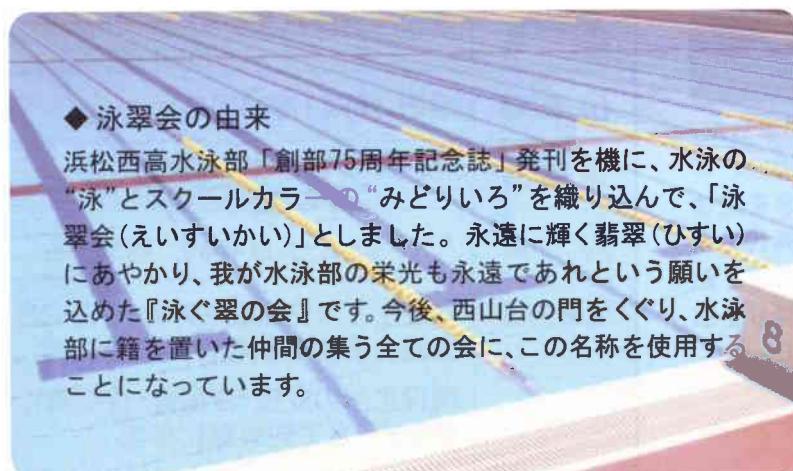
浜松第二中学校・浜松西高等学校 OB・OG から 現役水泳部員まで、幅広い年代の人たちで構成されています。



1999(平成11)年で創部75周年を迎える、泳翠会は記念誌「西山台の泳心遍歴」を発刊しました。

◆ 活動内容を詳しく教えてください。

毎年、年一回、学校関係者や現役の顧問の先生を交えて総会を開催し、会員相互の親睦・現役水泳部員への協力を中心に活動しています。



◆ 泳翠会の由来

浜松西高水泳部「創部75周年記念誌」発刊を機に、水泳の「泳」とスクールカラーの「みどりいろ」を織り込んで、「泳翠会(えいすいかい)」としました。永遠に輝く翡翠(ひすい)にあやかり、我が水泳部の栄光も永遠であれという願いを込めた『泳ぐ翠の会』です。今後、西山台の門をくぐり、水泳部に籍を置いた仲間の集う全ての会に、この名称を使用することになっています。



会旗の題字は中19回卒河合九平さん。

母校に対しての思いをひとこと！

浜松西高水泳部は、故古橋廣之進(中8回卒)さん・倉橋範彦(高4回卒)さんの2名をオリンピック選手として輩出した伝統ある部活です。現役生には、諸先輩方の活躍に続くようがんばってもらいたいです。

名 称	泳翠会(浜松西高水泳部OB・OG会)
代 表 者	磯部 育夫(高20回卒)
連 絡 先	TEL 053-464-3432
人 数	330名
活動 内容	年一回の総会の開催 現役生への協力

OB活動紹介



バスケットボール部は創部60年以上を誇ります。平成7年7月、バスケットボール部記念誌「創立50周年記念誌」を発行しました。

◆活動内容を詳しく教えてください。

毎年1月2日、西高体育馆にて現役生との交流戦を行なっています。OB達は高校時代の懐かしい雰囲気を味わいながらも、先輩としての意地とプライドを持って、新人戦を間近に控えた現役生との真剣勝負に臨みます。現役生への支援活動としては、試合（新人戦、インターハイ予選、ウインターカップ予選）や合宿、遠征等への支援、卒業を迎える3年生への記念品贈呈、主要大会への応援を継続的に行ってています。OBチームは静岡県西部バスケットボールリーグに参加し、年間約10試合をこなすとともに、毎週木曜日の夜8時から西高体育馆で練習を行なっています。

◆年齢構成はどうなっていますか？

中21回卒の大先輩から、昨年の卒業生まで幅広い年齢構成となっています。30代以上の会員約40名が中心となって、OG・OB会の活動を支えています。OBチームは40代以上メンバーによる「ポケツ」、20代から30代メンバーによる「フリースロー」が活動中です。また、指導者やバスケットボール関係者として活躍するOG・OBも非常に多く、皆バスケットボールに対しては「生涯現役」の気持ちで頑張っています。

◆静岡県西部バスケットボールリーグの試合にて

対戦相手は20代中心の若いチーム、対する「ポケツ」は先発メンバーの平均年齢が40代と、体力面で絶対的不利な状況で試合が始まりました。若い選手に体力面で劣っても、随所に組織的プレイ、クレバーなプレイを披露し、「これぞ西高バスケ」と唸らせる場面が多くありましたが、最後はスタミナ切れにより敗退てしまいました。しかし、いつでも真剣勝負に挑み、ひたむきにボールを追い、ゴールへのあくなき執念を見せる姿は、OB達の高校時代の姿そのものを連想させるほど熱く、「西高バスケ」の誇りを肌で感じることができました。



フリースロー (20~30代)



ポケツ (40代以上)

母校に対しての思いをひとつこと！

時代が大きく変化し、スポーツや部活動を取り巻く環境が厳しくなっている中、西高現役生の文武両道の頑張りは素晴らしいと思います。今後もひたむきな姿勢を持って、栄冠目指して頑張ってもらいたいです。

名 称	浜松西高校バスケットボール部 OG・OB会
代表者	瀬寄 保晴 (高23回卒)
連絡先	事務局 大村 明広 (高44回卒) TEL 090-7910-1298
人 数	バスケットボール部卒業生 約500名
活動内容	現役生との交流戦を実施、OG・OB会総会および新春の集いを開催 現役生への支援(合宿費・遠征費)、OBチームで対外戦に参加



soft tennis

軟式庭球部OB会

◆設立のいきさつを教えてください。

・創設期について

浜西庭球部は、終戦後間もない二中時代から、国体やインターハイで活躍、その後青山勝(高3回卒)が引き継ぎ、第2の興隆期を迎えました。その間、浜松北高が硬式庭球部(昭和40年頃まで)に移行するまで、ライバルとして各種大会でお互いに切磋琢磨。そのよき伝統を後輩に引き継ぐためOB会設立の機運が高まり、伊与田雄三(高1回卒)、青山らが中心に設立(昭和58年)。合宿のコーチ派遣、ネット・ボール等諸物品の寄贈を続けました。

・再設立について

その後、一時下火になりましたが再度OB相互の親睦と、現役生の部活動の援助を目的に平成13年熊野倣造(高5回卒)のもと再発足。平成21年の高等部の部活動中止を契機に縮小を余儀なくされましたが、できる限り組織継続(親睦会の開催、中等部との交流、諸物品の寄贈)に努め現在に至っています。



現役生の支援のため、毎年さまざまな活動をしている。

◆会の今後はどうお考えですか？

このOB会は、高校生を対象に設立した経緯もあり、部活動が中等部のみとなった現在、今後の活動については検討中ですが、同じ軟式庭球(ソフトテニス)を愛するものとして、組織を維持し活動を続けていきたいと思っています。



故清水満雄先生



◆年齢構成と活動内容を教えてください。

発足当時500人程度名簿に登載されていましたが、会員確認精査後、現在150人程度となっています。
年1回の総会・親睦会、現役生徒との交流会を実施しています。

◆顧問の思い出を教えてください

創部から20数年にわたり顧問を務めた故清水満雄先生の存在は大きい。数学の先生ながら軟式テニスに情熱を注ぎ、多くのインターハイ・国体選手の育成に努められました。穏やかな人柄で慕われていましたが、試合に負けたときは顔色が変わり、とても怖くて声がかけられませんでした。

名 称	浜西高軟式庭球部OB会
担 当 者	鷲頭 典利(高14回卒) TEL 090-1290-4001 長谷川 裕巳(高28回卒) TEL 090-2183-2652
人 数	会員数 約150人
活動内容	年1回の総会・親睦会 現役生との交流会



◆活動内容を詳しく教えてください。

年2回(夏、冬)ペースで浜松近郊にて懇親会を開催。正確に数えてなかったのですが、2010年2月開催を区切りの第100回記念としました。歴史的経緯から推察すると、とっくに超えていると思いますが(笑)

◆西高生に期待する事は何ですか？

(西高生に限ったことではないかもしれません)自分の可能性を勝手に決め付けずに、自分の考えで進むべき道を選び、やるからには徹底的に突き進む・・・。西高生にそんな姿勢を持ってもらいたい。

"光を通じて未知未踏を追及する精神"という浜松ホトニクスのビジョンにも相通ずることもあり、そんなスピリッツを持った卒業生が仲間(新規会員)になることを期待しています。

◆設立のいきさつを教えてください。

1961年12月設立。発起人は杉本範正(高11回卒)。初代会長は、藤田正巳(中19回卒)。当初メンバーは、上記のほか、故鈴木秀夫(高6回卒)戸塚博美(高10回卒)芳村吉郎(高11回卒)藤野輝夫(高12回卒)内山和隆(高13回卒)。普段の職場の"タテ"の関係(="上司一部下")とは異なる、職場の垣根を越えた"ヨコ"(="先輩一後輩")の関係を業務に生かすことが趣意。(年代に関係なく)お酌にまわり、コミュニケーションをとること!!

◆年齢構成はどうなっていますか？

会社の歴史(年齢構成)を反映するように会員数も増えてきました。

名 称	浜松ホトニクス 西山会
代表者	高橋 則男(高22回卒)
連絡先	
人 数	170名
活動内容	年2回の懇親会



◆設立のいきさつを教えてください。

1969年(昭和44年)「西山土木会」からスタート。当時は社会環境の変容が著しく、建設産業も構造的な変化に様々な対応が迫られていた。この頃、故中村一雄(中6回卒、中村建設(株)代表)の呼びかけで、卒業生で土木関係に携わる者を中心に、会員相互の健全なる発展と親睦を目的として設立。1976年(昭和51年)建設関係者全般に幅を広げ「西山建設クラブ」に。この年偶然、学校創立50周年で記念事業を企画。大勢のメンバーが、夏の休日も利用し3か月に渡り西高を測量。母校の姿を後輩に繋ぐ「測量図」及び「航空写真」を贈呈した(今も西高同窓会館に飾られる)。なお、二代目会長は故松井慶尚(中15回卒、株共栄建設代表)。

◆年齢構成はどうなっていますか？

中19回卒から高55回卒まで、様々な年代で現在140名の構成。

◆活動内容を詳しく教えてください。

毎年11月の第3金曜日、浜松市街で定時総会及び懇親会を開催。歴代ありがたくも校長及び同窓会長に顧問を務めて頂いている。西高出身の建設関連企業主だけでなく従業者なども出席する。年代幅が広いため、単なる懇談や情報交換だけでなく、先輩から後輩へ、母校の歴史やそれぞれの想いも伝達される。会に余剰があれば母校に寄与する事業を展開している。

◆会の今後はどうお考えですか？

逆風も長く続くが、我々の根っこには故郷(母校も一つ)を想う気持ちがあるから強い。社会資本整備や災害からの安全確保に全力を尽くし、今こそ「ものづくり」の尊さを大切に、同じルーツをもつ仲間と共に会を盛り上げていきたい。

名 称	西山建設クラブ
代表者	伊藤 孝(高19回卒)
連絡先	事務局 TEL 090-8738-5060
人 数	140名
活動内容	定時総会(年1回) 懇親会(年1回) 幹事会及び母校慈善事業(適宜)

2011年 5月18日 水

会場／浜名湖カントリークラブ



ここにも
母校愛!

第35回

浜松西高

エントリーは
各学年のゴルフ会幹事に
ご連絡ください。

同窓ゴルフ大会

大会の概要

本大会は2011年の次回大会で、第35回目の開催となり、長い歴史を誇ります。

毎年5月に浜名湖カントリークラブにて開催され、200名を超える同窓生が参加しています。

担当年度の同窓生が全体幹事を務め、地元企業や同窓関係者様より多くのご協力を頂きながら開催されています。

2010年の結果

2010年は、高31回卒業年度の同窓生が全体幹事を務め、5月19日に浜名湖カントリークラブにて約220名が参加して実施されました。

■一般の部

優勝 鈴木 晃さん(高29回)
グロス82／ネット70.0

■グランドシニアの部

優勝 播磨 衛さん(高2回)
グロス79／ネット71.8

チャリティ募金

例年、同窓ゴルフ大会においては、「皆の助け合いで元気な浜松に！」という西山魂を込めてチャリティ募金を実施しています。

浄財は浜松市の『頑張れ浜松応援基金』に寄贈しています。



浜名湖カントリークラブ
開場50周年



OB活動紹介

バレーボークスOB会



写真提供 静岡新聞社

西高バレー部復活を望む！

連絡先 村木晃幸(高34回卒)『TREIZE』(053-458-6203)

現役生との交流戦を中心としたOB会も、廃部と共になくなってしまいました。しかし近年、今は指導者として活躍するOBを始め、各方面で活躍中のOBが「TREIZE」に集まり、西高バレー部という繋がりによって、年齢・職業を問わず交流を深めています。年1回は、まとめて多くのOBを集めて会を開いています。

西友会（浜松市役所）



会員数 約270人

会長、副会長をはじめ、各部から選出された幹事により幹事会が運営されています。年1回、総会及び懇親会を開催し、会員相互及び諸先輩方との交流を図っています。



こんなところにも 西山魂 !!

三十乃会（高30回卒）みそのかい



世話人 岩渕康至
連絡先 053-452-2238
人 数 103人

設立は平成10年、新春の集いの当番幹事となつことからが始まり。高30回卒同級生有志の集まりで、年に1回懇親会を行い交流を深めています。また同学年では5年に1回の学年同窓会も行っています。

弦友会（弓道部OB会）



担当者 大城 哲治（高43回卒）
連絡先 090-7036-0358
人 数 30名

女子の多い運動部、文化部と間違えられる運動部の弓道部ですが、浜松西高で唯一全国優勝を経験している部活です。そんな弓道部にもついに2009年10月、OB会が発足！現在、高19回卒から高30回卒までの50～60歳代を中心に、総勢30名程度で活動しています。OBの交流と、現役生の支援のため発足した本会に、ぜひ入会してください！ 担当者までまずはお電話を。

昭和59年インターハイで
男子団体優勝！



写真提供 静岡新聞社



剣道部OB会



担当者 村石 祥行(高43回卒)
連絡先 090-8470-0284
人 数 未定

現在、改めてOB会の立ち上げを目指して設立準備活動を進めております。近日、諸先輩・後輩方へご連絡を差し上げたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

39西山会(高16回卒) | さんきゅうにしやまかい



代表者 小林 孝
連絡先 竹林 順一 (090-5854-2561)
人 数 300人

昭和57年、昭和59年1月の新春の集い当番幹事準備のために設立。高16回卒は昭和39年卒業であり、西山台に感謝の気持ちを込めて39(サンキュウ)西山会と名前を付けました。以前は4年に1回でしたが、現在は2年に1回行っています。その他、ゴルフコンペやミカン狩りなども行い絆を深めています。還暦も過ぎ早5年、同窓会を中心としているメンバーのためにも今後も盛り上げて頑張ります!!



西高卒業生は今では2万5千人以上!
いろいろな所に西高OBの「縁」があります。
ここで一部ですがご紹介いたします。



この他にもたくさんのOB会がありますが、紹介できなかったみなさまに深くお詫び申し上げます。

木曜会(高3回卒)



担当者 田中 良一
連絡先 053-472-1766
人 数 10~30人

50年間毎月（毎年に非ず、念のため）月末の木曜日に集まって社会の肩書き抜きの同級生に帰って旧交を温めています。縛られることなく自由にやっている事が長続きの要因です。「木曜会」は当時テレビが出回ったころにみんなで集まってボクシング中継などを見たことから始まっています。現在の中高一貫になる前に西高（戦後、浜松第二中から浜松第二高への転換期だったため）に6年通いました。学校行事にも積極参加しています。西高は「文武両道」、これからも勉強・運動に励んでほしいものです。

クオータークラブ(高25回卒)



担当者 吉澤 俊道
連絡先 053-452-4260
人 数 100名余

「お前ら、仲がいいなあ」と他学年から言われる事がが多いです。常には月一度飲み会を開いています。少ないときは3人、多くて10数名が集まり他愛ない話題で極上な数時間過ごします。（通称・月一會つきいちかい）例年の「新春の集い」では常時2テーブルを確保しているのが自慢！目下の課題は数年後に控えた還暦に何名集めるか。現在着々と準備進行中です。

20年前の記憶より

北坂と部室

部室は、今も変わらず運動部員の憩いの場。

北坂の風景は変わっていませんね。



北坂の眺めは今も同じ



根上がり松

平成19年に1本倒れてしまったんですよね。

制服

学ランに銀ボタンという伝統的な西高の制服。

中高一貫教育の開始とともに、プレザーに変わりました。女子生徒は、今も、夏はセーラー、冬はプレザー。



西山練成館

西高70周年を記念して作られました。

1Fは多目的練習場で雨でも練習ができます！



体研らせん階段

ある意味、記憶に残っている人が多いと思われるこの場所。

今も変わらずここにあります。

今の生徒もドキドキしながら階段を登るのでしょうか？

西坂とフードセンターかとう

“フードセンターかとう”は、今は取り壊されて、おしゃれな喫茶店になっています。

今の生徒たちは、どこに買い出しに行くのだろうか。。。。

雄踏街道が広くなつて、西坂からの交差点の風景はずいぶん変わりましたね。



駄販

なんだか今は、ずいぶん大きくなりました。パンも売ってるそうです。

彫刻

西高60周年を記念して作られました。

リアルなあの彫刻は、当時、美術の大石先生が、体育の森先生などをモデルに作成しました。東坂を登りきったところで目に飛び込んでくるこの彫刻はインパクトがあります。完成してからどれだけの学生をみてきたのかしら？





上履き

西高の上履きといえばスリッパ。。。

なんと今は6色！でも、ピンクはないんだね。



お茶当番

お茶当番ってありましたよね。
当番はお茶をとりに配膳場所へ。
場所は変わったけど、やかんが
並ぶ様子は、今も同じです。

自動販売機

当時は、プリックパックという紙パックに入ったジュースの
自販機とポカリスエットとカロリーメイトという変わった
自販機しかありませんでした。今は。。。



体育館横

やっぱりポカリ。
でも、カロリーメイトはない。

正面玄関

おっ、今も紙パック
自販機だ！



正面玄関

さすがに今はペットボトルの自販機も有り。

新幹線と海

南側の席に座ると学校とは思えない景色が。
すぐ近くに見える新幹線とJR浜松工場、
遠くに見える遠州灘。いい眺めですよね。
校舎は変わってもいつまでも変わらないで
欲しい風景が今もあります。



覚えてますか？
ひまわり号

西じゅんかん

浜松の北方面から通う西高生の足、
西じゅんかんは、平成16年に廃止されたそうです。
中型のバスで住宅街の狭い道を走っていました。

パン注文表	
品名	数量
トマトパン	20個
パン	20個
ハムチーズパン	20個
チーズパン	20個
食パン	20個
白パン	20個
あんぱん	20個
トマトあんぱん	20個
チーズあんぱん	20個
食パンあんぱん	20個
白パンあんぱん	20個
カレーパン	20個
白カレーパン	20個
食パンカレーパン	20個
白パンカレーパン	20個
トマトマヨパン	20個
チーズマヨパン	20個
食パンマヨパン	20個
白パンマヨパン	20個
トマトマヨあんぱん	20個
チーズマヨあんぱん	20個
食パンマヨあんぱん	20個
白パンマヨあんぱん	20個
トマトマヨカレーパン	20個
チーズマヨカレーパン	20個
食パンマヨカレーパン	20個
白パンマヨカレーパン	20個
トマトマヨマヨパン	20個
チーズマヨマヨパン	20個
食パンマヨマヨパン	20個
白パンマヨマヨパン	20個
トマトマヨマヨあんぱん	20個
チーズマヨマヨあんぱん	20個
食パンマヨマヨあんぱん	20個
白パンマヨマヨあんぱん	20個
トマトマヨマヨカレーパン	20個
チーズマヨマヨカレーパン	20個
食パンマヨマヨカレーパン	20個
白パンマヨマヨカレーパン	20個
トマトマヨマヨマヨパン	20個
チーズマヨマヨマヨパン	20個
食パンマヨマヨマヨパン	20個
白パンマヨマヨマヨパン	20個
トマトマヨマヨマヨあんぱん	20個
チーズマヨマヨマヨあんぱん	20個
食パンマヨマヨマヨあんぱん	20個
白パンマヨマヨマヨあんぱん	20個
トマトマヨマヨマヨカレーパン	20個
チーズマヨマヨマヨカレーパン	20個
食パンマヨマヨマヨカレーパン	20個
白パンマヨマヨマヨカレーパン	20個

今も注文表を使ってます。
でも、おにぎりとかもあるんだって！



東坂

20年ぶりにのんびりと東坂を歩いてみたら、入学式の日に桜の咲く中、ちょっと緊張、でもワクワクしながら、登ったときのことを思い出しました。

自転車で駆け上ったり、おしゃべりしながら歩いたり、毎日の風景。いつでも昔に戻れるような気がしてしまいます。

■ 「あなたにとって西高とは？」をテーマにつぶやいてもらいました

もう一度甲子園へ連れ

(匿名) 現在、西高的校舎を見な

舍をながめていると先生方、同級生のことを

新しいブルetc. で勉強したかった。朝の坂はつら

仕事でつらい時は地獄坂を思い出しています。 高47 スト

中、大学よりも愛着があります。充実していたからでしょう。

じめになりました！！とても楽しくいい思い出の3年間でした。 高

くなりますが。 高48 かつて一部活のあと竹下登商店は最高でした。

生活でした。 高38 K いつも“新春の集い”を楽しみにしています。笑顔に出

がいもなくモバゲーにはまって、、、今のケイタイスグエ！ 高43 カツー 毎日こ

う！ ブログなどで当時の思い出（主に恋愛関係）をつづっています。よしぇちゃんと詩集ワープロ打ちしてもらったよねえ。。。覚えてる？ 高43 鈴木貴美子 新しい校舎に

入ってみたい 高43 (匿名) 平井先生、授業中に早弁＆丸井のバーゲン行ってゴメンナサイ。 高43 中田 フクヤマ（駄菓子屋）さん、いつも店内飲食スミマセン。 高43

中西高生は他の女子高生からモテモテと思って入学した。しかし、僕はぜんぜんもてなかった。世間をはじめて知った16才の夏だった。 高43 タイショウ 陸上部引退後、

バレーボールにはまってしまいました。よく、女子バレー部と試合をしたもので。一番の思い出は“海の星”での練習試合！ 女子高での試合に少し緊張しました！？ 高43 井口 もっと勉強しとくんだったと思う今日この頃のいら 高43 いら 西高的セーラー服にあこがれて入学しました。卒業してから早10年。。。今でも変わらないセーラー

服を見るとなつかしくなります。 高43 Y 花の高校生活を期待して入学したのもつかの間、クラス分けを見てがっくり。男子クラスに決まってしまい、その後の高校生活に大きな影響が。。。高43 鈴木雅仁 吹奏楽部に所属し、運動部並みに練習して大変だった。 高43 つちい アマチュアの吹奏楽団に所属して、今も吹いています。当時の曲をリクエストしてなつかしく吹いています。 高43 つちい 体研のうじの時、女子の着替えを見てしましました。イヤ、勝手に見えたのだ。。。ゴメンナサイ 高43 YK 新春の集いの活動をしていて、西高生というつながりってすごいなって感じました。 高43 やぎ 村木先生になかなか勝てなかった。。。高43 硬式テニスOB 当時、西坂（東坂でも）をカップルで登下校するのが夢でした。かなわなかったけども。 高43 石村 赤点保持N01でしたが、今は、赤字にならないように頑張ります。 高43 Aクイック 高校生活の半分をプレハブ校舎で過ごしたけど、今は冷暖房完備なんだね。 高43 TAKA 久しぶりに東坂を歩きました。昔は遅刻されすれでダッシュできたのですが。。。高43 斎藤雅也 何をやっても楽しく、勉強しなくても卒業でき、大学へ行けました。お陰で、無事定年まで勤められました。 高16 加藤哲男 多くの人生の友人と出会い、楽しい思い出話に花をさかせたい。 高16 Y.O 高校生活が我人生を決定してくれた。いわば今ある自分は西高のおかげです。 高16 黒柳建治 田舎の中学校から遠鉄2路線を使っての通学。時間ぎりぎりになって、西坂を猛ダッシュ。朝から西山魂が培われたように思う。卒業以来47年の色々な場面で「西高」「西山会」を自慢していました。 高16 N.S 高校の時には、感じていなかった西高への思いが卒業してから、一年一年強くなっていました。西山台ありがとうございます。 高16 39西山会小林孝 小・中・高・大学の学校の中では最も身近に感じられるものです。 高16 M まさに青春そのもの（あたり前の事ですが。。。）浜松を離れている今は、特に西高OBという事を誇りに思います。 高16 内藤静夫 もう少し勉強しておけば、多少、今の環境と変わっていたかも。。。現状には満足です。 高16 山大好き人間 西高に坂を登って勉強したことが懐かしいです。今は、気功、ヨガの同好会長としてボランティアを楽しんでいます。 高16 村松?幸 夏休みに、生物部の活動で食事を与えに（ハツカネズミ）浜北から自転車で西高へ行った事を思い出した。 高16 N.N 私たち高三の時に女子の制服がしっかり決められた事です。女子が20数名の少ない中で楽しい思い出がいっぱいです。 高16 (匿名) 女生徒が20名と2クラスに分かれての存在でした。屋上でフォークダンスを先輩を交えて楽しかったです。桜の季節の毛虫には身ぶるいでした。良い思い出です。 高16 水谷順子（旧姓深谷） 何年前だろう？入学式の日のサクラふぶきが今も目に浮かびます。 高16 K.M S38年新幹線の工事中に部活でランニングをし、この工事中の土手に登り、工事担当者に許可をもらい高塚駅まで走ったことが大変良い思い出です。 高16 K.M 中高一貫教育では、1学年200名（内半分が女性）では、クラブ活動だけでなく、全てに問題があるのではないか？ 高16 K.H 西高はいい学校でした。可能ならもう一度通いたいものです。 高16 K.I 徒歩5分のところに住んでいましたので、子供の頃から西高は蝶を探ったりした遊び場でした。入学してからも、本当に自由な校風で、三年間を楽しく過ごさせて頂きました。 高16 K.I 励強も立派ですが、スポーツや特定の部活動も盛り上げて、バランスの取れた人間育て欲しい西高生に！ 高16 (匿名) たたかれたヘルメットかわいそうだった（野球部） 高44 鈴木 坊主にテクノカット。精一杯のお洒落でした。 高44 大佐 授業中は、いつも新幹線を見つめています。 高44 大石 西高っていたら、丘の上にある高校ってくらいだよね～ 高51 ちゃん やつてることはあの頃から変わりません。 高51 10 家具つくつます。 高51 G GRASA練習試合相手募集中。 高51 金ちゃん 毎年1月2日は恒例の。。。高51 法多山 自分の生き方に、常に関わってくるもの、人生に友あります。振り返ると、いつも心に有るもので。 高51 稲田一博 自分が還暦を迎えるという実感がわきません。健康を第一に、自分の第二の人生を生きたいと思っています。 高21 (匿名) 西高は文武両道、質実剛健、喧嘩に強く情に弱い。それこそが西高の魅力！ 実直な生き方を後世に引き継ごう！ 高21 本田覚 西山魂万歳！！とにかく、西高卒業生は皆性格が良い、これが総てを物語っている。 高21 大石好廣 目立たない生徒であった私が目立ちたがりになりました。西高での生活は私にとって青春そのものでした。 高21 (匿名) 学校祭のとき、氷のオブジェをセットしました。時々、削り、水割りにしました。楽しかった。西高万歳！ 高21 (匿名) 高校時代の思い出は、34HRの教室はいつも煙草のケムリで充満していましたことだな。 高21 (匿名) 青春の1ページです。あけてもくつてもサッカーでした。今も続けています。今年は、ねんりんピック出場です。 高21 岡村高邦 今、トレinzで服部君と柴田さんと飲んでます。昨日は西高の同窓会をやりました。皆さん、元気ですか？ 高38 N だれか、バレー部復活させて!! 高34 トレインズ・テル 縁あって西高の同級生だった長屋さんと義姉妹になり千葉に住んでいます。浜松に帰る度に町が変貌していますが、西高での出会いや思い出を忘れずにいたいと思います。 高25 武田（高柳）栄子 早起きが苦手で、「心臓破裂」と呼ばれるあの坂を、全力で駆け登ったものでした。なつかしい思い出です。 高25 長屋恵美子 授業がわからなくなると、キラキラ光る太平洋をながめています。今も心の中に残っています。 高25 村越（鶴見）怜子 西高を卒業し早37年！！今は能トレ（ピアノ）と筋トレ（パート）の日々！！でも初孫の笑顔が一番の癒し。 高25 国井（内山）和子 プレザーの制服に憧れて西高に入りました。でも、やっぱりあのセーラー服が私のお気に入りでした。 高25 常見（瀧本）規子 あれからもう40年が過ぎてしまったんですね。高校生活3年間は青春の1ページ。なつかしく思い出されます。 高25 中村（山内）みどり 西高といえばビスコ！！よく階段下で。。。いい思い出です。 高43 ビス子 私の脳内一時：友、道草、バイト、コンサート、映画、Myカセット 現在：友、同窓生、道草、仕事、コンサート、舞台、映画。

私の今は、まちがいなく西高で作られました。これからも、あんまり変わらないんだろうな～ 高43 でこひん 特にありません。 高47 枝元浩志 私たちの頃の西高は、文武両道の憧れの西高だったのに、中高一貫になった今の西高は、かなり残念ですね。 高47 M プレハブ校舎。。。署かった。 高45 RODMANIA 今、遊びたおしてます。 高45 二 西高の旧校舎、プレハブ校舎、新校舎の全てを経験できることってすごい！ 高45 中村雅俊 に似てるって言われます。バレー部伝統の地獄坂ダッシュで囁かれていました。 高48 稲茂知純 みんな元気かなー？ 高47 ま る二 西高の三年生の時、父が急病になり先生に相談にのってもらつたのを覚えています。目標の仕事にもつけ感謝しています。ありがとうございます。 高47 ヒッキー

Thank you for the message! 高
43

Love! Nishiko

高43回卒による2011年新春の集いへのあゆみ

2008

1. 2 「2008年新春の集い」にて、先輩より声がかかる。。。。。

グランドホテル浜松

1. 2 「2009年新春の集い」にて「第1回 学年同窓会」を開催
※約100名が参加しました。

グランドホテル浜松

8. 29 代表幹事が、井口幸英君に決定 !!!
※誰もが避けたがる大役を快く引き受けてありがとうございます。みんな、トリハダもんだったそうですよ。

四ツ池公園陸上競技場

9. 26 「第2回 学年同窓会」を開催
※約50名が参加しました。この場所にて、幹事会メンバーがほぼ決定！

グランドホテル浜松

11. 14 「高43回卒 幹事会 顔合わせ会」を開催
※井口代表より、2011年 タイトル&コンセプトが発表されました。

11. 21 「幹事会 メーリングリスト」運用開始
※記念誌部 名取和孝君が段取りしてくれました。ありがとうございます。

1. 2 「2010年新春の集い」に参加
※高43回卒は、約90名が参加し、全員で来年度のPRをしてきました。あ~い!!

グランドホテル浜松

2. 13 「新春の集い引継会・懇親会」を実施
※高42回卒の先輩方から各部ごとに活動の説明やアドバイスを聞きました。

浜松市復興記念会館

2. 20 「第9回 西高同窓フォーラム」に参加
※約90名の参加者の中、壇上でのコメントや名刺交換等、挨拶まわり&PRをしてきました。

3. 5 代表幹事 井口君のブログ「永久なる母校愛!」開始
※<http://west43.hamazo.tv/> みんなのコミュニケーションツールとなりますように！

3. 6 「2011年新春の集い キックオフ会」を開催
※新たに、約40名の協力者が集まりました。みなさん、ありがとうございます。これからよろしくお願いします。

浜松西高 同窓会館

4. 10 「第2回定例会(報告会)」を開催 & お花見 (^^)Y☆Y(^^)
※各部の活動報告と打合せを行いました。そして乾杯!! 乾杯!! 乾杯!! 桜もちゃんと残っていましたよ。

浜松西高 同窓会館
浜松城公園

5. 15 「第3回定例会(報告会)」を開催 & 懇親会 (^^)Y☆Y(^^)
※今回は、なんと言っても広告関連書類 袋詰め 約700set!! いよいよ広告活動本格稼働です。

浜松西高 同窓会館

5. 19 「第34回浜松西高同窓ゴルフ大会」に参加
※参加人数は、なんと約220名！ 高43回卒は、6名が参加し、ゴルフとともに、PR活動をしてきました。

浜名湖カントリークラブ

6. 12 「第5回定例会(報告会)」を開催 & 懇親会 (^^)Y☆Y(^^)
※今回の目玉は、坂田君と栄二君の広告活動ロールプレイング。みんな慣れないことだけど、頑張れ!!

浜松西高 同窓会館

6. 25 「高43回卒関東組 結成式」を開催 & 「同窓会ノート」を作成
※参加者13名。有薫酒蔵1434番目のノートを無事作成!! 中田千賀君の動きにみんな感謝です。

東京新橋 有薫酒蔵

6. 26 「平成22年度 同窓会総会」に参加
※出席者89名。高43回卒から13名が参加し、スライドを使い、新春の集いのPRとチケット協力のお願いをしました。

グランドホテル浜松

6. 26 「各学年 評議員」へチケット配付
※チケット部、いよいよ始動。総会懇親会の場を通じて、各学年の評議員へ協力依頼しました。

グランドホテル浜松

7. 17 「第8回定例会(報告会)」を開催 & 懇親会 (^^)Y☆Y(^^)
※クラス幹事の活動に、動きが出始めました。

浜松西高 同窓会館

7. 24 記念誌部 石野功一君が「記念誌部の目線から…」とブログを開始
※<http://west43.blog.ocn.ne.jp/nishiko/> 結構、こまめに更新しています(*^_^*)

8. 1 「浜松西高 同窓会報」発行 ~会報は、西高同窓会HPにもUPされています。
※編集委員の皆様、お疲れさまでした。山下時明君、鈴木健吾君、本郷道太君、記事ありがとうございます。

8. 14 「第11回定例会(報告会)」を開催 & 懇親会 (^^)Y☆Y(^^)
※帰郷組を含む、約50名が参加。コピー機もフル稼働、熱い熱い会となりました。

浜松西高 同窓会館

9. 27 「2011年 新春の集い 高43回卒二次会」の運営担当が高43回卒関東組に決定 !!
※何かしたい!! という声を受け、二次会は高43回卒関東組に一任することに。良いお疲れ様会をよろしく。

9. 27 「還暦学年への薔薇(手作りブローチ)の贈り物」計画が進行決定。
※杉山由希子さんをリーダーとして、女性陣が心を込めて製作します。喜んでいただけますように！

10. 16 「高45回卒以下との懇親会」を開催
※下級生約20名が集結。彼らを中心に、参加者集めをしてくれることになりました。当日、会場で !!

10. 19 「第20回定例会」を開催
※広告ラストスパートに向け、最後の追い込みを頑張っていこう!! と改めて誓いました。

浜松西高 同窓会館

- 11月末 「記念誌最終入稿」
※記念誌部全員で、デザイン、校正、原稿確認、頑張りました！

アプライズ

12. 30 「リハーサル」
※新春の集いに向け、最後の確認を行いました。

※このあゆみは抜粋です。

2011. 1. 2 新春の集い開催

2009

2010



高43回卒STAFF

代表: 井口幸英
 副代表: 伊藤友輔
 上田泰士
 村井秀聰
 太田亜紀
 寺田佳江
 井口由委子
 佐藤恵美
 金原葉子
 大木 泉
 山本欣徳
 鈴木雅仁
 企画部: 大城哲治
 宮崎季仁
 広告部: 坂田佳伸
 飯田康人
 チケット部: 本田真彦
 鈴木栄二
 会計部: 伊藤篤志
 夏目 亮
 名取和孝
 石野功一
 デザイン協力: 坂井朗子
 クラス幹事: 藤原弘康 杉山浩之
 服部将剛 牧 洋充
 川上嘉将 國分公雄
 河口哲也 佐山淳一
 岡田幹子 土屋賢一

協力:

鈴木大祐	阿部 将	早川廣代美	星野尚志
村上正芳	望月 智	鈴木勝彦	柳原浩美
澤田明宏	伊藤智弘	村石祥行	池田彰枝
大石圭介	鶴田倫久	杉山由希子	猪川 大
尾崎貴敏	仲川加奈子	鈴木ゆかり	梅田修身
杉山貴之	加藤由美子	船越久美子	菅沼桂子
白井研吾	本郷道太	太田明代	岡田季行
中野哲志	飯田千広	塚本浩史	倉田満人
村木俊保	山下時明	高井恵美子	西尾信輝
柴田廣光	北野 忠	大石浩希	河原恵枝
鈴木一行	春野啓文	相馬邦彦	進部泰子
小須洋亮	井上真以子	奥野 新	上村岳男
栗田将生	三原 諭	長津寛之	河南宏之
川嶋昌利	沖久美子	中山晴治	中村宗哲
鈴木直人	中村和代	川本研史	鈴木一路
小野田哲也	久米 研	久野恭治	坂本尚子
河口裕之	野中美栄	松井俊介	鈴木清美
鈴木雅吾	小池康行	内山浩二	前野隆典
山本和由	高橋良典	坪田健二	中田千賀
山内邦弘	鈴木美穂子	柴田 恵	藤森将仁
石田雅之	鶴見昌代	青山 刚	田嶋大輔
福田太津二	浅野江之	鈴木崇嗣	西井千浩
田畠英之	樋田泰德	武田嘉樹	臼井美和子
山下浩史	田口大樹	柿澤紀枝	内田 雅
鈴木 恵	井口千惠美	小澤治美	大須賀良子
鈴木達之	瀬邊大永	近藤香江	

(2010年11月13日現在)

本記念誌の企画・取材・製作に当たっては、
 多数の同級生、その他関係諸氏のご協力を賜りました。
 この場を借りてお礼申し上げます。

編集後記 高43回卒記念誌部より

「『新春の集い』って同窓会知ってる?卒業して20年経つと幹事やることになってるんだけど一緒にやらない?」全ては記念誌部長のこの一言で始まった…「広告とかチケットは大変らしいけど記念誌は意外と楽みたいよ」なんて言われて、「じゃあ手伝うよ」と軽い返事をしたが最後、えらい1年になってしまった。内容はどうする?誰がやる?と何していいかさっぱり分からず始まったキックオフ。あーでもない、こーでもないと、夜中までの打ち合わせ、慣れない取材に西へ東へ駆け回り、あっという間の締切間近、まさかここまでボリュームになろうとは…はっきり言って重い。これが「母校愛」なのだろうか?そもそも「母校愛」ってなんだろう?とずーっと考えてきたけれど、結局答えが出なかった気がする。それでもここまで西高に関わることは今までこれからもそんなにないことだろう。ただ、これだけは言える。西高生でよかったと。最後に取材に、編集に、関わってくれた記念誌部のみんなに感謝!

記:記念誌部副部長